

はじめに

昨年の九州経済は、生産は自動車や半導体関連が旺盛な海外需要に支えられ高い水準で推移するとともに、個人消費もインバウンドの増加等を背景に堅調に推移するなど、総じてみれば緩やかに改善してきました。

一方、人口減少・少子高齢化時代を迎え、労働力の減少や国内需要の縮小が地域経済に及ぼす影響が懸念される中、生産性の向上や、輸出・海外展開及びインバウンド誘客両面での海外市場の取り込み拡大等が重要と言えます。

こうしたことから当局におきましては、IoT や AI（人工知能）の導入・実装等を通じた生産性向上や新しいサービスの創出、中小企業・小規模事業者の生産性向上や経営力強化につながる設備等の導入の積極的な支援などを通じて、地域経済の活性化を推進するとともに、アジア地域との経済・産業交流の推進を図り、企業の海外展開を促進するなど、九州経済の持続的な成長の実現に向けて精力的に取り組んでいます。

これらの取り組みを進めるにあたり、九州における貿易、投資及び人的交流の動向等国際化に関する基礎的な情報を整理した「九州経済国際化データ2018」を取りまとめました。

2018年版では、巻頭特集として、九州においてグローバル展開を図っている企業6社の活動状況を紹介しています。九州においても、様々な分野でグローバル展開は進んでおり、今後も益々活発化することが期待されます。

本編は、「九州の国際化についての基礎データ」、「九州と各国・地域の経済関係」、「分野別に見た九州の主要産業」の3部構成でまとめています。

本資料が、九州各界において、経済の発展、国際化推進の一助となれば幸いです。

2019年4月
九州経済産業局